

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立矢田南中	学校	生徒数	16
----------	----	-----	----

平均値

2年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	30.38	25.13	41.63	49.67		77.00	8.21	203.13	19.13	40.14
大阪市	28.65	26.89	43.47	51.80	425.49	80.14	8.06	195.02	20.28	41.69
全国	28.95	26.09	45.12	51.64	409.25	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
女子	21.88	17.75	41.75	43.56		39.13	10.20	162.25	9.75	37.50
大阪市	23.12	22.70	46.32	46.59	318.64	53.12	9.03	166.76	12.20	48.14
全国	23.15	21.70	46.99	45.74	309.66	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

結果の概要

男子においては握力と立ち幅跳びで全国平均を上回ったが、女子においては全ての種目において全国平均を大幅に下回った。体力合計点では男女ともに全国平均を下回る結果となった。質問項目「運動をすることは好きですか」に対して、好きと答えた生徒の割合が男子66.7%(全国66.4%)と上回っていたのに対し、女子22.2%(全国43.0%)と大きく下回っていたのもその一因と思われる。また体育の授業を除いて、1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合が80%を超えているのも要因であると分析する。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

日頃の体育の授業では、腕立て伏せ・腹筋・背筋・サイドジャンプといった補強運動を必ず取り入れている。また、校内でのスポーツ大会などを行い、運動に興味・関心を持たせる取り組みを行っているが、運動部や地域スポーツクラブへの入部率が低いこと、1日にゲームやスマートホンに費やす時間が長い(平日にテレビやDVD、ゲーム機、スマートホン、パソコンなどの画面を5時間以上見ていると答えた生徒の割合が、男子44.4%(全国17.6%)、女子33.3%(全国16.6%))ことが体力低下にもつながり、本校の大きな課題となっている。